

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500085
事業所名	グループホーム かなれ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	町内会に加入し、回覧板で情報を得ている。資源回収に協力したり地域の役割を引き受けたりして地域の一員としてのつながりを大切にしている。地域の商店や飲食店などの利用、散歩時や近隣の方との挨拶、地域サロンの参加など地域とのつながりを大事にしているが、参加できる入居者が少なくなっている。中学生の職場体験を受け入れたり、大正琴や踊りなどの地域ボランティアを受け入れたりして積極的に交流するようにしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	入居者家族、自治会長、民生委員、連携病院の相談員、薬剤師、いきいき支援センターの職員の参加を得て年6回実施し、運営状況や活動内容などを報告している。また、尿路感染、ヒートショックやかくれ脱水、口腔ケア、薬剤師からお薬についての基礎講座などテーマを決めて毎回勉強会を実施している。参加者からの意見や提案等はその場で話し合ったり、記録して会議などで協議しサービスや技術の向上に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	行政担当窓口には介護保険更新の手続きや申請の代行業務、市の助成金などの手続き等で訪問した折に、情報交換をしたり入所事例などで指導や助言を得るなど良好な協力関係を築いている。市主催の事業者講習会や研修には積極的に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族からは面会時やケアプランの更新時にアンケートを行い、生活や趣味、医療・健康面や介護の方針などの要望を聞き、ケアや業務改善に役立っている。また、管理者から手書きの便りを毎月発行し、入居者一人ひとりの日ごとの様子や外食、行事の写真と同封して家族に安心を届けている。意見箱を設置して意見を述べやすい環境を整えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	